プログラミング基礎12受講後報告



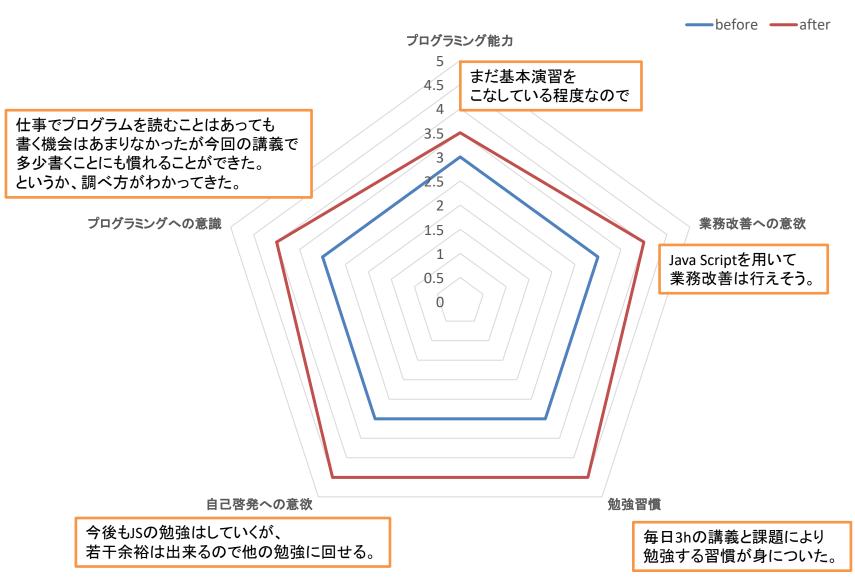


図1 受講前後の変化



MBV54 堀越

自身の進捗状況

Digital Innovation GÁRAGE ─C ∘

コースが終わるまでに、あなたにできるようになってほしいこと:

- 自分自身で新しいことを学べるようになること
- JavaScriptを使ってロジックを組み立て、
- アルゴリズムを実装する問題を解けるようになり、
- 4. HTML + CSS を使って基本的な Web ページを作成でき ること

HTML、CSSの連携がまだ使いこなせていないので 年内目途にほかの中級や応用問題を解きながら理解する。

コースが終わるまでに、あなたにできるようになってほしいこと:

- 学んだツールや知識を使って、 次のプログラミングの旅に出られるようになること
- わからなくてイライラするような状況にイライラしなくなるこ
- こで友だちを作り、自分を助けてくれるコミュニティを創

ること

4の課題を解きながらslackで質問しながら 引き続き交流を深めていく。

MBV54 堀越



課題回答時に工夫したこと

```
console.log("問題1");
 @param {Array<string>} friends - 友達の名前が入った配列
 @returns {Array<string>} 友達の名前それぞれに `"Hello"` の挨拶が付け加わった文字列を要素に持つ配列
// ここにコードを書きましょう
function sayHelloToFriends(friends){
 const result = [];
 //空の箱を用意
for (const friend of friends){
 //friendを定義 friend から値を持ってくる
 result.push("Hello, " + friend + "!");
 //result.pushでfriendsからfriendを持ってきてワードを追加
return result:
                                        簡単な事でも
// console.log(result);
//確認用
                                        疑似コードを書きながら進めることで
                                        復習時にもわかるようにした。
const friends = ["Mario", "Luigi"];
test(sayHelloToFriends(friends), ["Hello, Mario!", "Hello, Luigi!"]);
```